

請 願 書

請 願 番 号	第 20 号	受 理 年 月 日	令 和 4 年 1 2 月 5 日
請 願 者	住 所	○○○○○○○○○○○○○○○	
	代 表 者	無農薬の給食を目指す会 黒木 恵子	
請 願 者	住 所	○○○○○○○○○○○○○○○	
	代 表 者	子どもたちの未来を考える会～いろどりの輪～ 内館 美奈子	
紹 介 議 員	津田 賢伯、海老原 直矢		
付 託 委 員 会	文 教 経 済 常 任 委 員 会	結 果	採 択

- 1 件 名 学校給食における低アレルギー献立の取り組みを求める請願書
- 2 要 旨 学校給食におけるアレルギー対策を進めるため、低アレルギー献立の導入を行うこと。
- 3 理 由

子どもたちの食物アレルギーの問題は学校においても非常に深刻な問題となっている。平成25年に文部科学省が行った調査によれば、平成16年時と比較して児童生徒の食物アレルギーは1.7倍、アナフィラキシーの既往は3.6倍になったとされている。既にこの調査から10年近くが経過しており、食物アレルギーをもつ子どもの割合はさらに増加していることが想定される。

教育委員会によれば、上尾市においても令和3年度においては児童生徒のうち6.5%（16,746名中1,099名）に食物アレルギーがある。さらに、2%（352名）の子どもたちが弁当を持参する対応をしており、上尾市においては食物アレルギーについては代替食や除去食等の対策も取っていないため、同じ給食を食べられないことによる子どもたちの心理的負担とともに、共働き世帯が急増する中で弁当を作らなければならないことは保護者にとっても大きな負担となっている。大阪府箕面市では、小麦を使用しない低アレルギー献立を導入しており、同市によれば予算規模や栄養価、そしておいしさの観点からも問題はないとされている。

このようなことを踏まえ、学校給食におけるアレルギー対策を進めるため、学校給食における低アレルギー献立の導入を行うよう求める。

※低アレルギー献立とは、卵、牛乳・乳製品、小麦・小麦製品等を使用しない献立のこと。